

1. はじめに

金沢工業大学(以下、KIT)の派遣留学生として、6月から8月上旬までロチェスター工科大学(以下、RIT)に滞在し、8月下旬からローズハルマン工科大学(以下、RHIT)に入寮した。RITの英語学校とは全く違う環境や雰囲気になかなか慣れず、戸惑うことが多かった。それは、アメリカの正規の授業を受講したりアメリカ人に囲まれて生活したり、RITでは体験できなかったことを今正に体験しているからだろう。そのため毎日が新鮮で充実し、この1ヵ月は時間が過ぎるのがあっという間であった。

2. 生活

2.1. 寮

私は1999年に設立した Percopo Hall という寮に住んでいる。寮の目の前には大きな湖とチャペルがある。その様子を図1に示す。ルームメイトは化学を専攻しているアメリカ人の2年生である。初めて会った日に、「車持っているから必要なら言ってね」と言ってくれたことを今でも覚えている。とても親切で優しく接してくれる。また、トイレとシャワールームを隔てた隣の部屋にもアメリカ人2人が住んでいて、それらを4人で共有している。キッチンが部屋に備え付けられていないが、寮で共有するキッチンが1つある。タンスやクローゼット、デスク、冷蔵庫等は部屋に備え付けられている。



図1 湖とチャペル

2.2. 食事

食堂は2つあり、どちらも今月にリニューアルした新しい食堂である。1つは、メインとなる食堂でバイキング形式の食堂である。ご飯時にはいつも学生で賑わっている。メニューの内容は、肉、バーガー、サラダ、サンドウィッチ、スープ、果物、デザート、多様なドリンクなどたくさんのメニューがある。こちらのメインの食堂の様子を図2、バイキングの様子を図3に示す。もう1つは、ピザやタコスなど軽食が売られている食堂である。夜遅くまで営業しているため、午後10時でも多くの学生が見受けられる。



図2 食堂の様子



図3 バイキングの様子

2.3. 授業

私は Reading and Writing 1、Listening and Speaking、Cell Structure and Function の 3 科目を履修している。General chemistry I も履修していたが、毎日の予習、復習、課題に追われ、どの科目も中途半端になっていたため、やむなくドロップアウトした。また、途中からではあるがより多くの学生と交流したいと思い、Japanese Language and Culture の授業にアシスタントとして参加している。英語の科目に関して、昨年までは College English という科目だったが、今年から Reading and Writing と Listening and Speaking に分けられて授業が行われている。以下にこれらの科目の詳細を示す。

2.3.1. Reading and Writing 1

英語を第 2 言語としている人のための授業で、週に 4 回授業がある。生徒数は 11 人と少数だ。Reading に関して、文章を早く読むためのコツを学んだり、文章の意図を理解する練習をしたりした。Writing に関して、ペアを組んで文章を作成したり、自分の体験談をエッセイしたりした。課題は毎日あるが量は少ない。

2.3.2. Listening and Speaking

こちらも同様に、英語を第 2 言語としている人のための授業で、週に 4 回授業がある。生徒数は 14 人で、私以外は皆中国人である。彼らの英語レベルは非常に高く、レベルの差を痛感している。週に 1 回のペースでプレゼンテーションが行われた。課題は毎日あるが量は少ない。しかし、リスニングが苦手な私は何度も繰り返して聴く必要があるため、多くの時間を費やしている。それでも分からないことの方が多いので、他の課題とのバランスも考えて取り組んでいきたい。

2.3.3. Cell Structure and Function

週に 2 回の座学、1 回のグループ活動、また 1 回の実験がある。高分子、細胞膜、エネルギー、酵素、シグナル伝達、光合成、細胞呼吸などを学んだ。週に 1 回クイズがあるが、成績を占める大きなテストはない。その代わりに、生徒同士で話し合う機会が多くあり、グループ活動が設けられている。これは 3、4 人のグループメンバーと相談しながら課題を解く時間である。専門用語が多く飛び交うディスカッションについていけず、メンバーに頼りきりな状態だ。このグループ活動がこの 1 ヶ月の中で一番苦戦している。いち早く専門用語を覚えてグループに貢献していきたい。授業中の印象として、アメリカの生徒は先生が説明している途中でも手を挙げて質問している。授業に対して非常に積極的また自発的な姿が印象的である。

2.3.4. Japanese Language and Culture

日本語を学ぶ学生のための授業である。この授業はとても人気で定員越えだそうだ。1 年生のクラスと 2 年生のクラスどちらも参加している。1 ヶ月しか日本語を勉強していない 1 年生は、英語と日本語両方の言語を使用して授業を受けている。私にとっても英語の勉強になる面があり充実した時間だ。2 年生のクラスともなると上手に日本語を使っている。時々私に質問する生徒がいるが、日本人の私でも答えに悩んでしまう時がある。日本語の難しさを実感すると共に、日本人として恥ずかしく感じた。授業外の普段の生活でも生徒の課題のサポートをした。これからも積極的に交流していきたい。

2.4. クラブ活動

私は swing dance club、ISA(International Student Association) club、SASE(society of Asian scientists and Engineers) club に参加した。

Sewing dance は男女組になり音楽に合わせて踊るアメリカのダンスだ。週に1、2回活動がある。私はまだ3回しか参加しておらず上手ではないが、ダンスを通していろんな人と関わって楽しい時間を過ごしている。

ISA と SASE は、international students の生徒が多くいる。それぞれのオリエンテーションに1回しか参加していないが、それのおかげで多くの友達を作ることができた。

3. 研究

「アメリカ人の食生活と栄養バランス」

現在のところ、自分が摂取した食事内容をカメラで撮り写真として収めることをしている。今後の計画として、厚生労働省の「栄養バランスガイド」を利用して、この研究を進めることを考えている。対象範囲が学内という狭い範囲ではあるが、バイキングという形式を活かして、アメリカ人がどういった食材や料理あるいは栄養素を摂取する傾向があるのかをつかめると考えている。また、アメリカ人に、食事内容や食に対する考え方等についてアンケートを実施したいと思っている。

4. 週の学習時間 (授業時間を除く)

第1週 25時間

第2週 30時間

第3週 40時間

第4週 42時間

5. おわりに

今月は新しい環境に慣れず時間を上手に使えなかった。課題を終わらすために時間を費やしすぎて、コミュニケーションの時間が少ないように感じる。RHIT の学生は時間の使い方が非常に上手いように感じる。勉強と遊びのオンとオフをしっかりと区別し、週末にはうんと羽を伸ばしている。私も彼らのように効率よく時間を使って、できるだけ早く課題を完了し、コミュニケーションの時間を増やしていきたい。そして、日本では体験できないこの貴重な時間を1日も無駄にすることのないように過ごしていきたい。

以上で9月分の月例報告を終了する。